

令和4年11月4日

北朝鮮ミサイル発射に伴う「Jアラート発信時」の対応について

運行管理部
安全統括者 池田 新

1. 携帯電話を搭載している場合はJアラート受信後、または車両周辺の防災行政無線（屋外スピーカー）警察・消防などからのミサイル発射情報に基づき最寄りの停留所などへ停車する。貸切バスで一般道路を走行中は周囲の状況を注視し、交通事故を誘発することがない安全確保できる場所で停車すること。
高速道路走行中にJアラート受信、または道路情報板により情報を得た場合は最寄りのSA、PAに移動し停車すること。
2. 運行再開については運行管理者の指示を原則とするがしばらくした後（5分程度）、周囲に異常がない場合運行を再開する。
3. 無線の場合はJアラートを受信した運行管理者がその情報に基づき適切に判断指示する。停車方法、運行再開については上記1と同様
4. 上記1.2いずれにおいても、付近に警察・消防の行政関係者がいる場合は、その指示を最優先する。また「公道を走行している」ということを念頭に置き、周囲の状況を注視し、交通事故を誘発することのないよう安全確保に努めること。

Jアラート受信における各対応方法

<運行管理部>

ミサイル発射情報受信(テレビ・酒田市防災無線・個人の携帯)

※自箇所が対象地域 NO ⇒ 所定運行に戻る

- お客様扱い中、出庫するバスの出発を見合わせ、お客様に事前連絡
※社内SNSより一斉送信
- お客様、乗務員、社員を屋内へ誘導(車庫・本社営業所)
※只今、Jアラート受信でミサイル飛来情報、発車出庫を見合わせます。
お客様は屋内に避難してください。ガラス窓近くにはお気をつけください。

Jアラート受信通過情報(発射情報から15分~20分)

通常運行

<乗務員>

ミサイル発射情報受信(テレビ・酒田市防災無線・個人の携帯)

※自箇所が対象地域 NO ⇒ 所定運行に戻る

- 運行中の車両は、バスを止めて頑丈な建物や地下街などに旅客を誘導、自身も避難する。
 - 近くに頑丈な建物や地下街などが無い場合は旅客を車両から離し地面に伏せ、頭部を守る指示、自身も同様の姿勢をとること。
 - 高速道路を走行している時など、安全な場所(SA、PA)などに停車させ、旅客に車内で姿勢を保持して待機することを指示し、自身も同様の姿勢をとること。
- ※停車後、避難できる建物などがあれば、屋内への誘導も考慮

Jアラート受信通過情報(発射情報から15分~20分)

通常運行

※ミサイルが着弾した場合

行政指示が最優先とする。

屋外

旅客に口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内又は屋上へ避難誘導

屋内

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。